

## 総合工学委員会 原子力安全に関する分科会（第24期・第9回）

### 議事要旨

1. 日時 令和元年7月24日（水）14：00～16：00
2. 場所 日本学術会議5階 5-C(1)会議室
3. 出席者  
委員：矢川元基、上坂 充、柴田徳思、松岡 猛、森口祐一、山地憲治、成合英樹、  
竹田敏一、柘植綾夫
4. 配布資料  
資料1 前回議事録要旨  
資料2 「原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会（第3回）議事録  
資料3 「原子力連絡小委員会（第2回）議事録  
資料4 総合工学委員会原子力安全に関する分科会—福島第一原発事故調査に関する小委員会活動報告
5. 議事
  - 1) 前回議事録確認 山地委員の小委員会報告が抜けているので、一部改訂して後日配布する。尚、すでにHPに載っているのでHP改訂版も差し替える。（山地委員）
  - 2) 資料2に基づき、原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会（第24期・第3回）「意思の表出」に関する議事内容が報告され、本報告の作成を分科会として承認した。  
今後、2020年4月30日までに第三部の査読プロセスを済ませる目途の下、速やかに骨子の作成と2019年末までの小委員会各委員による報告原案作成協力を依頼する。（森口委員リード）
  - 3) 資料3に基づき、学術会議が主催する恒例の原子力総合シンポジウムを本年12月2日の午後に開催することとした。今年の開催テーマについて次の論点、  
論点1) 福島第一事故の科学技術の視点からの教訓  
  
論点2) 先端技術の不確かさと不安に対する社会の視点ならびに社会への取り組み  
  
論点3) 持続的な社会を実現するための原子力技術の在り方、とすることとし、  
山地委員リードで進める。
  - 4) 資料4に基づき、松岡委員より福島第一原発事故調査に関する小委員会活動の報告がなされた。報告「我が国の原子力発電所の津波対策—東京電力福島第一原子力発電所事故前の津波対応から得られた課題—」が5月21日に公表となった。その際、NHK、

朝日新聞はじめマスコミで取り上げられた。6月20日開催の第10回小委員会では元地震本部津波評価部会部会長島崎邦彦氏を招いてヒアリングを実施し、福島原子力発電所事故直前における地震学分野での当時の地震リスクの認識の様子が明らかになった。現在、「提言 我が国における新知見への取り組みー福島第一原子力発電所事故の反省と教訓から得たものー」と「報告 原子力規制の課題とあるべき姿」を準備中である。

5) 大型計画について研究用原子炉のあり方検討小委員会上坂委員長より「中性子施設ネットワーク」の申請書の説明があった。

次回予定：12月2日（午後に原子力総合シンポジウム開催）の午前に開催する。

以上